

## 大腸がん手術患者における術前フレイル評価の有効性に関する研究

### 1. 研究の対象

2014年4月から2015年3月までに大腸がんに対し手術を施行された方

### 2. 研究目的・方法

術前のフレイル（脆弱性）の有無を、入院時にClinical Frailty Scaleを用いて、術前のフレイルの有無を評価した。フレイルの有無と患者背景因子、手術関連因子、術後経過を比較し、術前フレイル評価の有用性を検討した。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、Body Mass Index（BMI）、併存疾患の有無、術式、手術時間、術後合併症の発生状況、術翌日から端坐位/起立・歩行開始までの日数、術後在院日数等。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒861-4193

熊本県本市南区近見5丁目3番1号

096-351-8000

研究責任者：済生会熊本病院 リハビリテーション部 大崎敬之

以上